

それでは本日最後の品でございます。
かの憎き解放軍の女剣士ラクチェです！

「ラクチェだと…
あの流星剣の…」

皆さま、本物が疑っておいでですね
もろろん、お見せいたしましょう。

あの、女剣士ラクチェが
惨めな性奴隷に堕ちた顔。

ぜひ、ご覧になっていただきたい。

「しかし、
本物ならば
母子揃って
牝奴隷落ちか」

「母はイザークの王女
アイラでしたな
あの牝も極上でした！
牝豚の血はしっかり
受け継がれているようだ」

「いや…
顔だ！目隠しをとれ！
顔をこの目でみるまでは
信じられませんな！」

「あの鎧と剣、
どうやら本物らしい…」

わしの配下がやつに
どれだけ斬られたか…」

「いや…
顔だ！目隠しをとれ！
顔をこの目でみるまでは
信じられませんな！」



ご覧ください。
流星剣の女剣士の無様な姿を！

「おち…あの顔、
間違いない…」

「見る、あの顔を！
この場にいたつても
まだ誇りを失っておらん
いいぞ、驕のしがいが
あるではないか…」

「あの娘には散々煮え湯を
飲まされてきましたからね
くく、必ず競り落として
死ぬまで肉便器として
使い倒してくれろ…」

「あのラクチエが…
まさに肉便器ではないか
たまらん…
あの鎧をもう一度着せて
犯し尽くしてやりたいわ」

ふふ、皆さま滾っておられますな。

諦めがわるく未だ女剣士のつもり
の愚かな牝でございます。

ですが、からだは我々の手で
念入りに仕上げ、
今すぐにも極上の牝奴隷として
ご使用いただけます。



それでは競りとまいりましょう。
この極上の牝：100万からと
させていただきます！

さあもっと高値の方は
おられませんか！

この牝豚に恨みを持つ方は多いはず
今こそこの牝に皆様の雄の力を
思い知らせるチャンスなのです！

快楽にむせび泣き、許しを乞う惨めな
この牝の姿を独占しましょう！

「15万！」

「25万！」

「30万！」

ガクガク

ガクガク

「……」

「ええい！
50万です！」

「なっ……！」

「1000万！」



1000万のお客様！
おめでとうございます。
1000万で決定です。

それではご覧ください。
契約の証として刻まれる
性奴隷の紋章でございます。

この気の強い牝奴隷に合わせて
最上級の淫欲の呪文を
かけ合わせた紋章です。

筋力は封印され、この牝奴隷は一生涯
お客様に対して逆らうことが決して出来ません。

常に淫欲に苛まれ、主人の慈悲を乞う
最高に惨めな牝奴隷の調教をお楽しみください…。

『ようやく
復讐が出来ますね…
まずは領地で
引き回して晒し者で
しましょう…。』

『後は、地下牢に
叩きこんで
二足歩行の禁止…
淫魔化の実験…
くく、いくらでも思い浮かぶ。
徹底的に尊厳を
踏みにじってあげますよ
ラクチェ…』











